

プランクトン調査結果のお知らせ

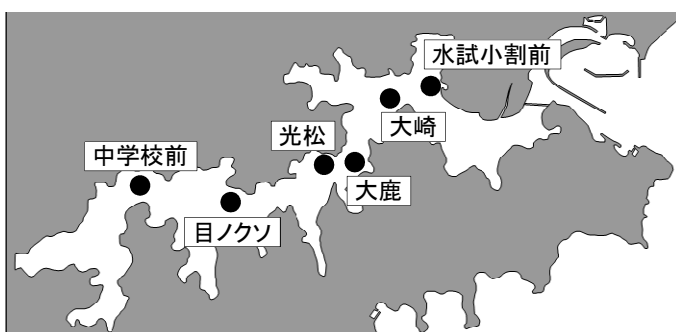
本日午前9時から浦ノ内湾の調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

湾内の透明度は1.5～4.0mで、大崎から湾奥側では着色が見られました。有害種カレニア・ミキモトイは減少傾向にありますが、依然として1,000cells/ml程度確認されています。また、降雨等の影響で再増殖する危険性も考えられますので、今後も慎重な養殖管理をお願いします。加えて、有害種のシャットネラ属が徐々に増加しています。今後の動向に注意が必要です。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

	水深	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	ヘテロシグマ・アカシオ	ディクチオカ・フィビュラ	ケラチウム・フルカ
中学校前	0m	510	0	90	1	4
	2m	520	3	90	18	2
	5m	1010	1	50	13	1
目ノクソ	0m	51	0	10	0	17
	2m	43	0	50	21	0
	5m	940	1	20	13	1
光松	0m	142	0	150	2	3
	2m	90	2	2930	17	1
	5m	550	0	860	3	0
大鹿	0m	141	0	20	1	0
	2m	480	0	1190	12	2
	5m	960	0	610	5	12
大崎	0m	35	0	2100	10	1
	2m	230	2	5800	8	2
	5m	61	0	740	2	4
水試小割前	0m	11	0	230	4	0
	2m	9	1	440	1	0
	5m	61	0	340	1	0

(cells/ml)



- 漁業被害が想定される細胞密度**
- カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(へい死)
  - シャットネラ属: 10～100cells/ml(へい死)
  - ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000～50,000cells/ml(へい死)
  - ディクチオカ・フィビュラ: 赤潮発生時(へい死)
  - ケラチウム・フルカ: 100cells/ml(餌食いの悪化)